

7月上旬

ブロッコリーはビタミンCがレモンの3倍

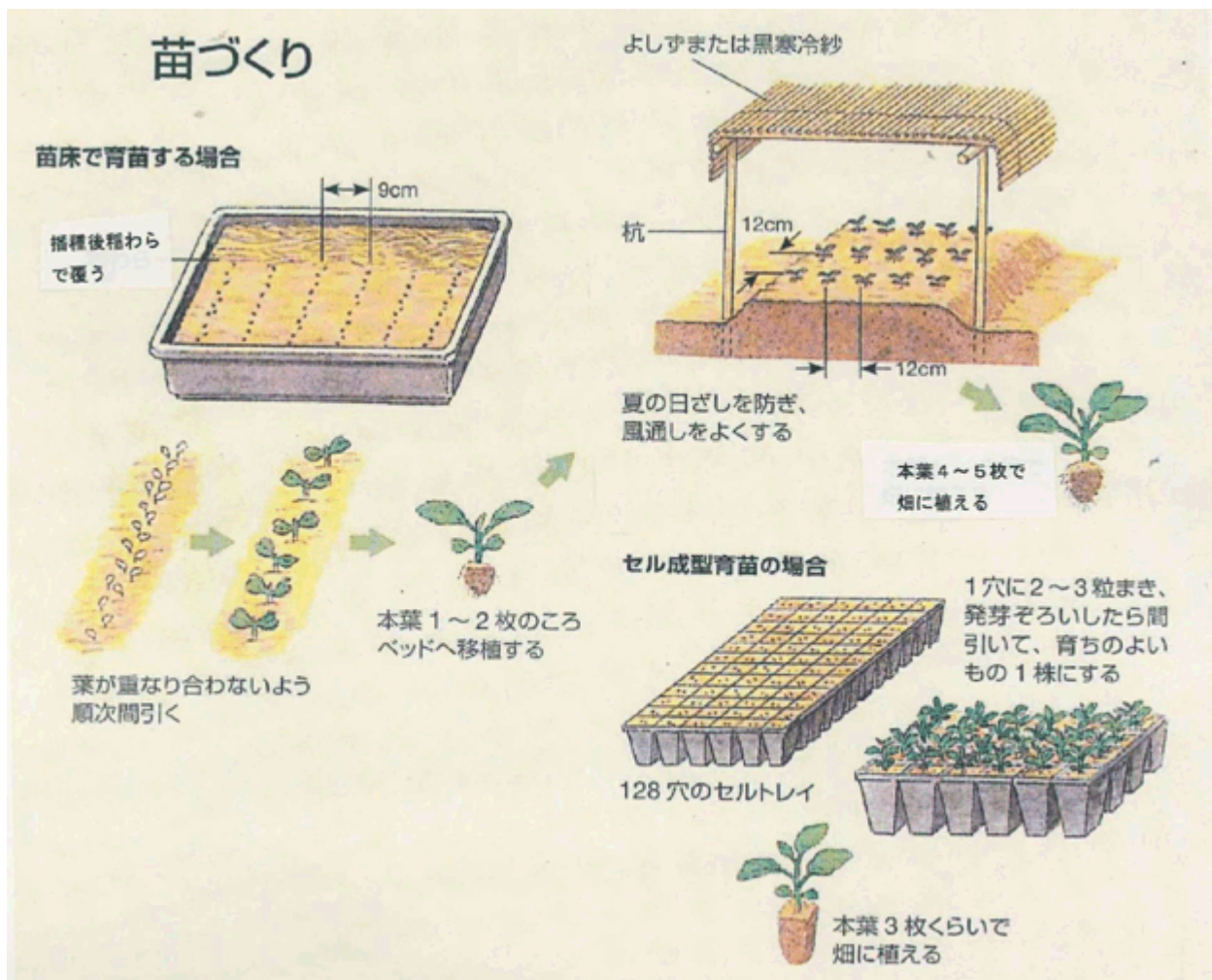
ビタミンCやカリウム、ミネラルなどを豊富に含む健康野菜の代表として人気の高いブロッコリーを栽培しましょう。

ブロッコリーは保水力のある有機質に富んだ土壌を好むので、良質の堆肥と油粕を十分に施すようにします。根は湿害に弱く、根腐れを起こし枯れやすいので、水たまりが生じないように排水に注意します。

早生種は7月上旬、中・晩生種は7月中～下旬に種まきします。

育苗は、少しでも風通しのよい涼しい場所がよく、晴天日には日ざしを遮るため、90cmぐらいの高さによしずや黒寒冷紗などで覆って、温度が上がるのを防ぎます。

セル育苗にすれば、容器ごと移動できる利点があります。



7月中旬

セルリーは気温が高くなる7月に植え付ける

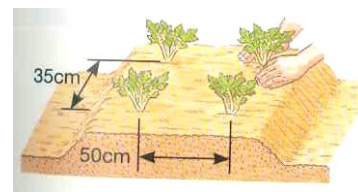
淡色野菜としては意外にカロテンを多く含み、繊維質にも富む健康野菜で、強い芳香とさわやかな歯ごたえは肉料理やサラダに人気があります。一般に「セロリ」とも呼ばれています。

生育適温は15～20℃と冷涼な気候を好みます。また、有機質が豊富で適度に湿っている土壌を好み、乾燥には弱い野菜です。

種まきから収穫まで5～6ヵ月を必要として、低温条件で花芽分化するため、5～6月ごろに種をまき10月下旬以降に収穫する「初夏まき・秋どり」が基本です。

植え付けは7月ごろに行います。

本葉が6～7枚で、葉や茎にハリがあるものを購入します。
(播種からの場合は1ヵ月前から)

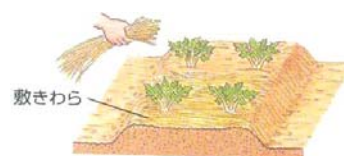


1. 植え付け

元肥は1週間前に堆肥4～5kg/m²と化成肥料150g/m²を施用し畝を立てます。

株間は30～35cm、条間45～50cmの2条に穴を掘り、水をたっぷり入れ、水が引いたら苗を浅めに植え、株の根元を両手で軽く押さえます。

植え付けが終わったらたっぷりと水をやり、以後土が乾かないようこまめに水をやります。



2. 敷きわら

乾燥と土の跳ね上りを防ぐために、敷きわらをします。マルチもしてもよいのですが、地温が高くなりすぎるので、マルチの上にさらに敷きわらをします。

3 追肥

1回目は、植え付けの20日後に行い、2～3回目は20日おきぐらいに、株の根元か株間に化成肥料を約30g/m²施します。

4 軟白

茎を白くしたい場合は、光をあてない軟白栽培を行います。光をあてないことで、軟らかく真っ直ぐに育ちます。

20～30cmになったら、株全体を水濡れに強い厚手の紙や段ボールなどで覆います。



5 収穫

セルリーの収穫は、植え付け後約80～90日です。一般的には、第1節の長さが20cm以上になったものが収穫適期です。1株収穫しなくても、外葉から1枚ずつ収穫してもよい。



7月下旬

夏まきニンジン（秋どり）の栽培法

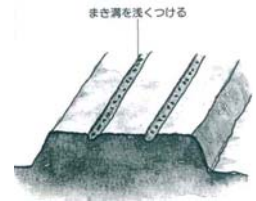
1 作型と品種

（○播種 □収穫）

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	品 種
長根夏まき						○	---	○	-----	□	□	□	向陽二号、金時

2 栽培上の注意点

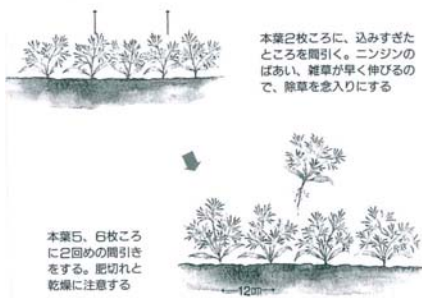
- ① 西洋種と東洋種、また、根が長いか短いによって、三寸ニンジン、四寸ニンジン、五寸ニンジン、大長ニンジンなどに分けられます。
- ② 夏まきは、生長してからは暑さに弱いので、幼苗期に夏を過ごさせて秋から冬に収穫します。
- ③ 土は良く肥えた水はけの良い砂壤土が一番適しています。



3 うねづくり・本田肥料

たねまきの15日前に、完熟堆肥3kg/m²とセルカ100～120g/m²、元肥として化成肥料(14・10・10)50g/m²を全面に施し、深く耕した後、100～120cm幅のうねを作る。

4 たねまき・間引き



条間30cmの2条まきとする。10cm程度の幅で溝を切り、十分灌水してからまく。

金時ニンジンは、たねに毛がついているため、手でもんで毛を落とし、2昼夜流水に浸し、乾いた砂にまぶしてまくと発根しやすい。

ニンジン好光性種子のため、覆土は、たねが隠れる程度に薄くし、軽く鎮圧する。その後、乾燥防止と雨にたたかれるのを防ぐため、まき溝に切りわらを散布する。

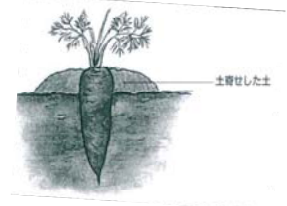
長根種は、本葉1～2枚時に密生しているところを間引き、本葉3～4枚時に株間7cmに、本葉6～7枚時に

株間15cm前後に間引きする。

間引きの時期が早すぎると、初期の生育が遅れ、遅すぎると軟弱徒長するので、適期にすること。

5 追肥

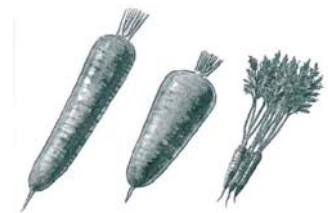
追肥は、たねまき後25日頃に1回目を野菜専用化成(15・15・10)40g/m²を条間に追肥し、覆土する。2回目は最終間引き後、野菜専用化成で40～50g/m²を条間に施します。追肥後は条間やうねの肩の土を株元へ寄せる。



6 中耕・土寄せ・灌水

追肥後は必ず、中耕や土寄せをする。また、雨などで表面が固くなったときも、軽く中耕する。

本葉2～3枚頃までと、根部の肥大始めは特に、水分不足の影響を受ける。



7 収穫

五寸ニンジンは12～13cm、三寸ニンジンは8～9cmで収穫するが、これにこだわらず、逐次収穫すればよい。